

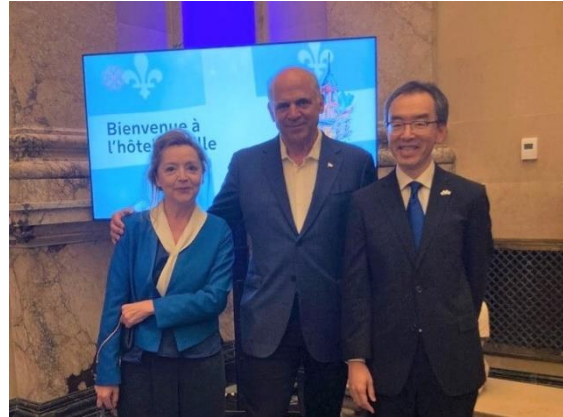
夏の間に多く実施される日本関係行事には総領事館としても関係させて頂いており、日本に対する関心が高まっていることをひしひしと感じております。その関連で、これら行事において、ボランティアの方々が重要な役割を果たしているとの話も伺います。加にはもともとボランティアの文化があると承知しているところ、自分の時間を割いて広く各種活動に貢献されておられる方々を僭越ながら心より讃えたいと思います。ボランティアは、ご存じの通り、フランス語で les bénévoles ですが、調べてみると、ラテン語の「善(bene)を欲する(vouloir)」という語源から来ているとのことでした。とても美しい言葉だと思いました。

● 6月19日、ケベック市にて、フレシェット移民大臣と面会し、ケベック州の移民政策および仏語使用強化政策に関して意見交換を行いました。また、その夕刻、ルゴー州首相夫妻主催のケベック州記念日式典 (la Fête nationale du Québec) に出席しました。ケベック州副総督、州政府閣僚、州政府関係者、各国総領事、名誉領事等が多数出席し、首相のスピーチのあとは、皆さんが和気藹々と懇談したり、楽団の演奏するケベック民謡等によって、皆さんが輪になって踊るなど、まるで中世の村祭りのような(良い意味で)和やかな会でした。そのような打ち解けた雰囲気の中で、ルゴー州首相、ビロン国際関係・仏語圏省大臣、ベランジェ保健・高齢者担当大臣等といつもよりくつろいだなかで話を交わすことができました。



同24日、モンリオール市庁舎にて、同様に、6月24日を祝うレセプションが開催さ

れました。プラント市長をはじめとして、フィッツギボン経済・イノベーション・エネルギー・モンリオール大都市圏担当大臣、ルロー社会連帯・コミュニティ活動担当大臣など、当地在住の閣僚とも親しくお話をすることができました。この行事は今年で190年目を迎えるとのことで、この時期に、街の各地で行われる文化行事と併せて、大きな盛り上がりを見せていました。



●20日、ケベック州政府の全面的協力を得て、モンリオール日本商工会加盟企業を対象として、同州の仏語使用強化政策のうち主にビジネス環境にかかる説明会が実施されました。ケベック州国際関係・仏語圏省、仏語庁、ケベック仏語化局、ケベック州教育省を含む州政府担当部局と日本企業の間の質疑応答や意見交換を通じ、同政策に関する双方の理解促進の機会となりました。



●7月4日から8月1日にかけて、由緒あるモンリオール国際花火競技大会が行われ、日本、カナダをはじめとして6つの国が参加しました。トップバッターとなった日本からは、秋田県大仙市の大曲花火チームが出演されました。夜10時からの30分にわたる花火は、豪華絢爛、匠の技満載で、息を呑むほど綺麗でした。観客も30分の間、常に歓声をあげている状況で、最後は大仙市の花火師の方々に対するスタンディングオベーションでした。花火自体の美しさに加え、最近の花火は、遠隔制御で音楽やリズムとコーディネートして打ち上げるなど、進んだ技術が当たり前になっていることにも感銘を受けました。

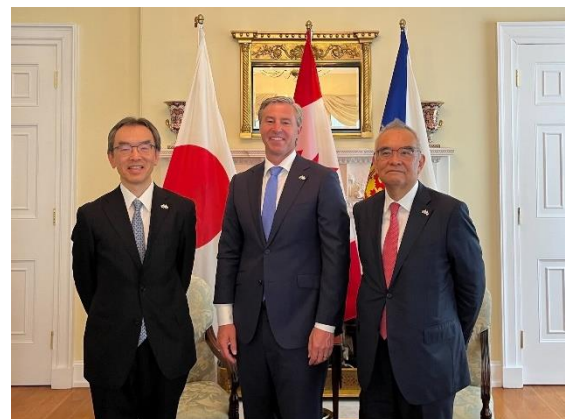
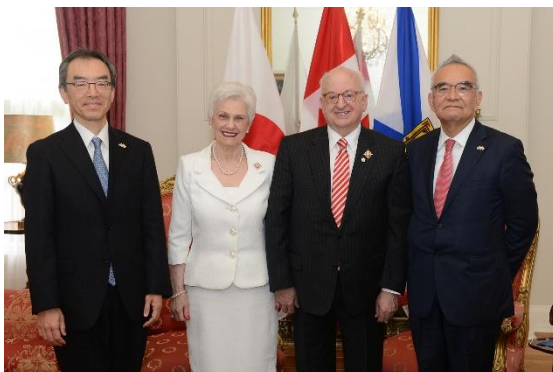




そして、8月1日の結果発表では、「大曲の花火」が銅賞を受賞しました。多くの有力なライバル国がいる中で、ベスト3に入賞されたことについて心より祝意を申し上げるとともに、これを機に多くの外国の方々がこの花火を見に訪日されることをお祈りします。



● 7月9-10日、ノバスコシア州を公式訪問しました。同地では、山野内在加大使と共に、ルブラン副総督、ヒューストン首相、マスランド公共事業大臣、コーカム経済開発大臣、ヤング、ラシャンス、バークハウス各副議長、サベージ・ハリファックス市長等と懇談しました。現場では、サレット名誉総領事に案内いただきました。各要人との会談の際には、当方からは、在留邦人の安全確保を改めて依頼しました。会談では、日本と同州の経済や文化面における関係強化について議論したところ、特に同州からのJETプログラム参加者を更に増やすための方策についても議論が及びました。





● 7月17日、総領事公邸にて、ソニア・ダンダノー氏への叙勲伝達式を執り行いました。ダンダノー氏は、モントリオール市立植物園日本庭園・日本館館長として20年以上に亘り日本の多様な文化紹介を行い、当地において広く日本文化の紹介・普及・理解促進に大きく貢献されました。また、当館においても約15年に亘り職員として勤務され、その間、日本紹介・理解促進に大きく貢献されました。



「カナダにおける日本文化の紹介及び日本・カナダ間の友好親善に寄与」の功績により、「旭日双光章」を受けられたダンダノー氏に敬意を表すると共に、総領事館として改めて祝意を表します。

● 7月28日、ケベック市において、ケベック日本友好協会が主催する第4回「桜祭り」が開催され、晴天の下、前回を超える多数の来場者が日本の夏祭りの雰囲気を楽しめました。茶道、絵画、墨絵、折り紙、着物・浴衣、日本食、和菓子・ケーキ、お茶、陶器、和風アクセサリー、日本酒、マンガ等のブースに加え、屋外では和太鼓演奏や来場者も交えての民謡の踊り、日本映画音楽の歌唱、温泉やマンガに関する講演会など、盛りだくさんのプログラムでした。当館からは私の挨拶のほか、当館職員によるJETプログラム・国費留学生等に関する講演・ブース出展を行いました。屋内の会場は、決して狭くはありませんが、老若男女

のケベック人の方々に一杯で、日本文化に対する高い関心を感じました。日本文化の紹介にあたられた主催者や出展者の方々に感謝申し上げます。



● 7月29日、第28回ファンタジア国際映画祭の開会の機会を捉え、当地における日本映画・文化の普及・理解促進及び日本の映画技術の紹介・認知向上やカナダにおける日本文化普及への貢献といった功績により同映画祭に対する令和5年度外務大臣表彰を行いました。ファンタジア国際映画祭は、モントリオールにて1996年から毎夏開催され、日本を含むアジアの作品を中心に様々なジャンルの映画を上映してきました。日本映画については、毎年多くの作品を上映しているほか、日本人監督や俳優を招き、質疑応答セッションを行うなど、多様なイベントが行われています。ファンタジア国際映画祭は、こうした、ファンタジア国際映画祭のこれまでの活動功績に敬意を表すると共に、心から祝意を表します。



*上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な1か月でした。

*本件レターは仏・英語にても、メルマガ購読者に配信しています。